

Ruby on Rails ベースの OSS 「Open PJC」「Traxi」「Customize Tool for Open PJC」を公開

～ 商用ソフトを OSS 化した、新しいビジネスモデルを提案 ～

日本 OSS 推進フォーラム アプリケーション部会 Ruby アプリケーション TF は、Java 実装の商用アプリケーション (PJC :アースインターシステムズ株式会社) を Ruby および Ruby on Rails で再実装し、OSS 「Open PJC」として、sourceforge.jp 上にて公開しています。

今回、Open PJC の中核となる Ruby on Rails 製 Web アプリケーションフレームワーク Traxi を用いて独自アプリを作成するためのツール Customize Tool for Open PJC (CTOP) を、sourceforge.jp 上に公開いたしました。

■ OSS 化の目的

日本 OSS 推進フォーラム アプリケーション部会の目的である

「日本の特徴を活かした OSS アプリケーションを開発し、利用者の立場でビジネスモデルを提案して、OSS の普及、および、ソフト開発者のスキル向上への貢献を目指す」

と言う理念を実現すべく、同理念に賛同したアースインターシステムズ株式会社の商用ソフトウェアであった「PJC(project collaboration)」を Ruby および Ruby on Rails で再実装し、今回 OSS として、sourceforge.jp にて公開いたしました。

■ 活動概要

OSS として公開した Open PJC、Traxi、Customize Tool for Open PJC (CTOP) の3点は、日本OSS推進フォーラムアプリケーション部会 Ruby アプリケーション TF メンバの手により、「PJC」を、Ruby および Ruby on Rails で再実装しています。なお、「PJC」は、アースインターシステムズ株式会社のプロジェクトマネジメント手法を用いて組織の段取りを効率化するJava製パッケージソフトウェアです。

今回の活動は、アプリケーションの OSS 化により、潜在的な利用者の試用機会を増加させて、構築・カスタマイズサービスの売上拡大を目指すばかりでなく、SaaS 化によるクラウド時代の利用者の獲得なども目指した新しいビジネスモデルに挑戦しています。実際に、Open PJC は経済産業省の支援により構築された J-SaaS の一つのサービスのベースアプリケーションになっています。

今回の開発および公開は、sourceforge.jp 上で行っており、現在も sourceforge.jp 上にて、継続的に開発を行っております。これらの活動にご興味のある方の Ruby アプリケーション TF への参加を歓迎いたします。

■ 公開先/内容

● Open PJC

公開URL: <http://sourceforge.jp/projects/open-pjc/>

概要 : プロジェクトマネジメント手法を用いて組織の段取りを効率化する Ruby 製アプリケーション

● Traxi

公開URL: <http://sourceforge.jp/projects/traxi/>

概要 : カスタマイズ性に優れ、新しい SaaS の素早い実現を可能とする Ruby on Rails ベースの Web アプリケーションフレームワーク

● Customize Tool for Open PJC (CTOP)

公開URL: <http://sourceforge.jp/projects/ctop/>

概要 : Traxi を用いて独自アプリケーションを開発したり、Open PJC をカスタマイズするための、Ruby on Rails ベースの専用開発ツール